

**製品名:** EF-2 (リン酸化 Thr56) ウサギポリクローナル抗体

**カタログ番号:** APRab04574

研究使用のみ

## 概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください (12 ヶ月有効)。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

## 応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	100kDa

## 抗原情報

遺伝子名	EEF2
別名	EEF2; EF2; Elongation factor 2; EF-2
遺伝子 ID	1938.0
SwissProt ID	P13639
免疫原	抗血清は、ヒト eEF2 の Thr56 リン酸化部位付近の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 31-80

## 背景

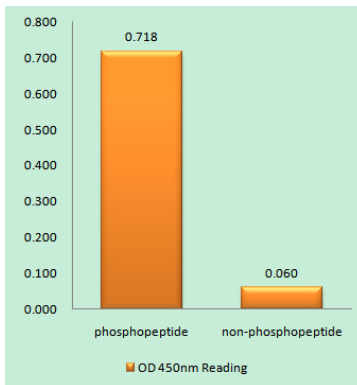
この遺伝子は、GTP 結合性翻訳伸長因子ファミリーのメンバーをコードしています。このタンパク質はタンパク質合成に必須の因子

であり、新生タンパク質鎖のリボソーム A 部位から P 部位への GTP 依存性転座を促進します。このタンパク質は、EF-2 キナーゼによるリン酸化によって完全に不活性化されます。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]機能: このタンパク質は、新生タンパク質鎖のリボソーム A 部位から P 部位への GTP 依存性転座を促進します。、PTM: ジフタミドは 2-[3-カルボキシアミド-3-(トリメチルアンモニウム)プロピル]ヒスチジンです。ジフタミドは、ジフテリア毒素および緑膿菌外毒素 A によって ADP リボシル化される。、PTM:EF-2 キナーゼによるリン酸化は EF-2 を完全に不活性化する。、類似性:GTP 結合伸長因子ファミリーに属する。EF-G/EF-2 サブファミリー。、サブユニット:mRNA 監視 SURF 複合体の構成要素で、少なくとも ERF1、ERF3 (ERF3A または ERF3B)、EEF2、UPF1/RENT1、SMG1、SMG8、および SMG9 から構成される。、

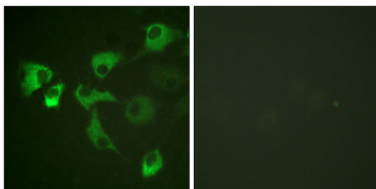
## 研究分野

AMPK

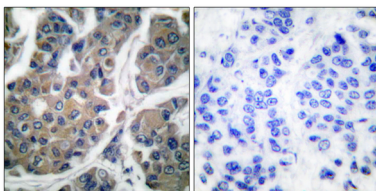
## 画像データ



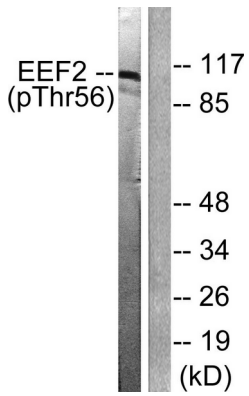
eEF2 (リン酸化 Thr56) 抗体を用いたリン酸化ペプチド (リン酸化左) および非リン酸化ペプチド (リン酸化右) 免疫原の酵素結合免疫吸着測定法 (リン酸化 ELISA)



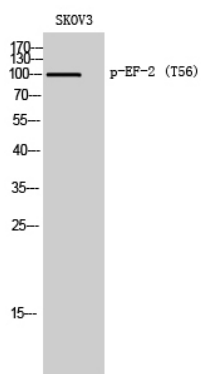
eEF2 (リン酸化 Thr56) 抗体を用いた HUVEC 細胞の免疫蛍光染色。右の写真はリン酸化ペプチドでブロッキングした画像です。



eEF2 (リン酸化 Thr56) 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト乳癌の免疫組織化学染色。右の写真はリン酸化ペプチドでブロッキングした状態。



血清 10% 30 $\mu$ l で処理した NIH/3T3 細胞のライセートを eEF2 (リン酸化 Thr56) 抗体を用いてウェスタンブロット解析した。右レーンはリン酸化ペプチドでブロッキングされている。



1: 2000 希釈の Phospho-EF-2 (T56) ポリクローナル抗体を用いた SKOV3 細胞のウェスタンブロット解析